



呼応

第24号

発行
上田染谷丘高校
東京同窓会事務局
〒354-0021
埼玉県富士見市鶴馬
1-13-25
Tel 049-253-6863

ごあいさつ

高18回卒 水野 美代子



青葉若葉を渡る風もすがすがしい季節になつてまいりました。
皆様にはお健やかに過ごして下さる事でしょう。今年度から、大役を仰せつかり身の引きしまる思いをしております。

子育ても終り、ふと自分を振り返ると、染谷高校時代が、旧校舎の中庭での歌声と共になつかしく思い出されます。
同窓会に、楽しいおしゃべりをしにお出掛け下さり、会員同志の親睦を深めて頂きたいと思ひます。
今年度は小江戸川越散策です。
東武東上線沿線に春到来しています。川越の喜多院は古くから桜の名所として有名です。どうぞお誘い合わせで参加下さいますようお願い申し上げます。

記

期 日 平成二十一年五月二十七日(水)

開 会 午前十一時

会 場 ラ・ポア・ラクテ(川越)

最寄駅 JR線・東上線・川越駅

会 費 八千円也(年会費千円含む)

切 日 平成二十一年五月十日

※会費の振込を以て出席通知に代えさせていただきます。

※総会に欠席の場合恐れ入りますが年会費のみお振込下さい。

当 日 携帯 ○九〇―七二四一―九九五一 水野

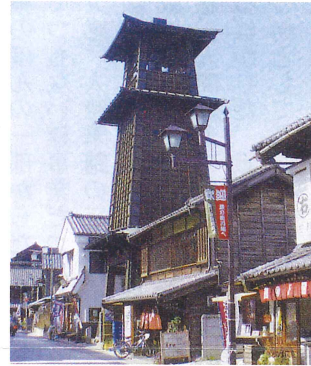
ラ・ポア・ラクテ



今も町に「時」を告げる川越のシンボル

時の鐘

蔵造りの町並みが続く川越の中心部に立つ町のシンボル。寛永年間に建てられたといわれ、約350年もの間、川越の町に「時」を告げてきた。現在の鐘楼は、明治26(1893)年の川越大火の翌年に再建されたもの。今も午前6時、正午、午後3時、午後6時の1日4回、趣のある音色が町に響きわたる。「残したい日本の音風景100選」にも選ばれている。



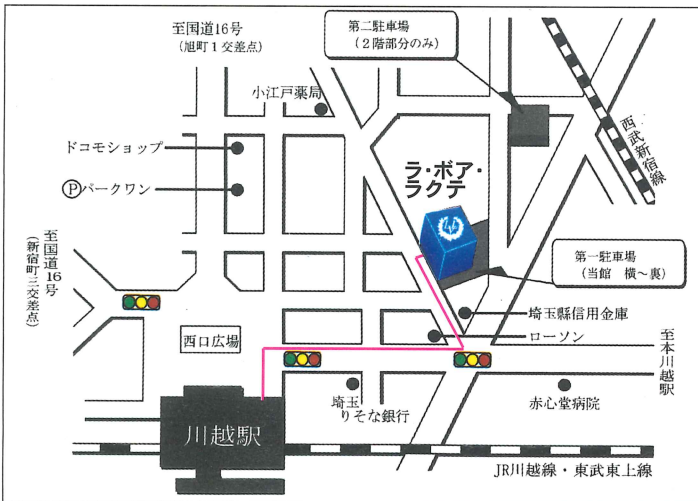
昔懐かしい素朴な駄菓子屋横丁

菓子屋横丁

昭和初期には約70店舗が軒を連ねた川越の菓子屋横丁。今も20軒あまりの店が、昔ながらの駄菓子屋名物の芋菓子などを商い、甘い香りと懐かしさを漂う横丁となっている。



川越を舞台に、連続テレビ小説「つばし」3月30日よりNHKで放送開始
今年是一段とブレイクしそうな川越。川越観光の王道といえ、蔵造りの町並み、どこの懐かしい菓子屋横丁、江戸城ゆかりの喜多院など、せんか、きつと違った川越が見えてきます。



0120-65-7739 所在地/埼玉県川越市脇田本町22-5

上田高女・染谷丘高校東京同窓会 平成20年度会計報告

(単位:円)

収 入		支 出	
前年度より繰越	636,961	総会費	429,977
年会費	293名 252,313	渉外費	同窓連等 58,250
総会費	37名×8,000 296,000	通信費	切手等 87,200
祝 儀	40,000	印刷費	呼応23号等 73,915
補助費	支部費 10,000	事務費	封筒等 32,060
受取利息	610	会議費	役員会 40,080
		交通費	役員会 49,580
		次年度へ繰越	464,822
計	1,235,884	計	1,235,884

上記のとおりご報告申し上げます

平成21年3月31日

会長 水野 美代子
会計 北沢 清美 小胎 京子
会計監査 柿沼 多美江

監査の結果相違ありません

平成21年

平成20年

〔年間活動報告〕

3月5日	役員会	4月9日	役員会
2月9日	役員会	5月26日	東京同窓会
2月7日	東京同窓連	6月21日	本校同窓会
2月2日	役員会	9月18日	役員会
12月22日	東京同窓連	10月18日	本校同窓会
12月1日	役員会	11月17日	東京同窓連
11月17日	東京同窓連	12月1日	役員会
10月18日	本校同窓会	12月17日	東京同窓連
9月18日	役員会	2月2日	役員会
6月21日	本校同窓会	2月7日	東京同窓連
5月26日	東京同窓会	2月9日	役員会
4月9日	役員会	3月5日	役員会

新年会

理事会

役員会

役員会

役員会

瞳

高16回卒 小泉 多美子
「女が四年も大学に行つてどうするだい。」

「嫁の貰い手がねえぞ。」
四十五年前、大学合格発表にホツとしていた私への親戚や近所からの第一声だった。およそ半世紀も前のこと、今ではとても考えられないことだ。

「わあー、大変。私の将来には、結婚生活はないのかもしれない。」という不安を抱きながら東京での大学生活が始まった。

幸いにも、卒業後、東京都の小学校の教員となり、結婚、二人の息子にも恵まれ、子育てと両立しながら三十八年間に全うし、定年退職することができた。

教え子たちは、五百名を優に超えただろうか。新任当時は、日々が体当たりで試行錯誤の連続。休みの日には、子どもたちを自分の下宿や郊外に誘い、思いつき遊んだものだった。管理体制が厳しい今では、とても許されないことであるが。その時の子どもたちも、五十路。今でも、時々集まっては、あの当時の楽しかった思い出に花を咲かせている。

教職の後半の十二年間は、校長職として、学校経営に携わり、教育に対する大きな期待や厳しい要求を肌で感じながら、解決する緊張の日々だった。

校長の役目のひとつに卒業証書授与がある。毎年、壇上で一人ひとりの卒業生に証書を授与する。そこには、子どもが歩んできた十二年間の凝縮された瞬間がある。十二歳の瞳は、それはそれはまっすぐで、希望に満ちあふれている。その瞳の奥に

ある強さと畏れは、未来への希望と勇気でもある。証書を受け取り、一礼し、壇をおりていく彼らに「幸多かれ」と祈らずにはいられない。

母校・上田染谷丘高校の教え「深き真実・強き命・清き心」も私の教職人生を支え、感動的で、より豊かなものにしてくれたものと思っている。当時の恩師・湯本先生を囲んでの毎年の同級会もかけがえのない時間であり、私の活力になっている。



《プロフィール》

昭和三十九年三月本校卒。四十三年三月東京学芸大学卒業。都内七校の小学校に勤務。内、四校で管理職を務め、現在、教育センターに在籍。

世を支えてきた人々を想う

本44回卒 石井 真智子

いつか行ってみたくて思っていた黒部峡谷にやつと行くことができた。トロツコ列車でというロマンチックな気分も手伝ったことである。

一日目、宇奈月から鐘釣まで。黒部峡谷鉄道は狭い谷間の山裾にはりついてトロトロと蛇行する。深い谷底の黒部川を覗きこんだり、切り立った崖のつくる美しい風景を眺め旅の気分を満喫していた。だが、この険峻な崖に一人通る道だつてどのよう



胸で測るといつた気持ちに終始捕われていた。二日目、立山から

黒部ダムへ。ケーブルやロープウェイに乗り継ぐ度、周囲の山容を眺めたいのに風景を見るゆとりもなく、又人工物に遮られて自分の立つ地点を見定めることもできない。(昔の室堂など陰も形も)

大観峰で売店の二階から戸外に出た。ガスで視界はまっ白、ところが一瞬ガスが吹き払われて意表を衝く光景に歓声が湧いた。私の脇には累々と巨岩が積み上がっており今にも押し被さつてきそうでドギモを抜かれた。黒部平では前に聳える山の天辺近くに四角い小さな穴が見え

今、そこからケーブルで降りて来たんだとわかった時、壮大な事業のほんの一部からだけにとつともない難事業だったことを実感。人跡未踏の三千メートル級の山をぶち抜き、大自然の脅威に立ち向かった強い意志と智慧、人間の力の偉大さに感嘆するばかりだ。戦後の復興を担って何としても、湧き上がる活気と熱意使命そして団結がなかったなら。

黒部湖ではダム堤の上を歩きつ戻りつ感慨にふける。谷底の向うの方に小さく見える木々の梢が紫を帯び、もやもやして美しい。帰ってから吉村昭著「高熱隧道」を読む。クロヨンに先だつ



5月4日(月・祝) 浦和夕口人会

三遊亭さん歌活動予定

昭和十一年というからまさに日中戦争前夜、国のお声がかかりでこれ又命がけの壮挙だったのだ。重い資材を背に棧橋をゆくボツカ力の転落事故、人知では計り知れない泡雪崩、熱湯の流れ出すトンネル内の壮絶な労働、三百余名の犠牲者が出たことを知る。 ※「高熱隧道」は初日ルートの上流にあたる。

帯木蓬生著「国銅」を読む。奈良の大仏造立について書かれた小説だが、重機もない古代にあの大きなものをどのように造つたのか興味深かったのだが、何よりも、徴用された工人農民の言語に絶する働きと、解放されても路銀もない無力な人間の姿が忍ばれて――。病気で倒れたり、山賊海賊の難もあり自身の才覚で帰るしかない生と死の狭間で、果してどれだけの人が故郷の土を踏むことができたろう。志高い青年主人公と共に泣いた。

今私たちは、豊かな文化を賞で、電化製品に埋まって便利にくらしを享受しているが、長い歴史の陰に世を支えてきた数知れぬ人々があつたことを思う時、敬虔の念に打たれることしきりである。謙虚に生きたいと思う。

- 5月14日(木) 内幸町夕口人会
- 5月16日(土) 朝日名人会
- 有楽町朝日ホールにて
- 7月7日(火) 圓歌・きん歌親子会
- 文京シビックホールにて
- 8月7日(金) 内幸町夕口人会
- 11月12日(木) 内幸町夕口人会
- http://www.ucci.or.jp/kgyo/impression/interview1.html

中澤きみ子コンサート スケジュール

- 師弟の共演
- 中澤きみ子と門下生
- 4月25日(土) 19:15開演
- 東京文化会館 小ホール



- 中澤きみ子アル&バート・ロトデュオリサイタル
- 6月6日(土) 19:00開演
- トッパンホール
- ASAGO 国際音楽祭2009
- 8月3日(土) 11日(予定)
- NAGANO 国際音楽祭2009
- 8月24日(土) 30日
- チケットお問い合わせ・コンサート オフィス アルテ
- ☎ 03-33352-7310
- Fax 03-33352-1665
- Email: info@musicale.com

半田淳子スケジュール予定 (近況報告)

- 5月5日(火) 千駄ヶ谷・国立能楽堂
- 舞踊の会「平家物語」に出演
- 開演 P.M 3:00より



入場料 8000円・6500円・4500円
6月に、いよいよCDが発売予定となりました。(アメリカ・セレッシャルハーモニーズ社より)

編集後記

昨年は、同窓生の半田淳子さんの琵琶の演奏をお聴きしました。素晴らしい音色が心にしみわたり感激の一時でした。半田さんの活動が日本から海外へと広がっています。後進の御指導もされ、大活躍とお聞きしています。

メタボと言われ、できるだけ歩いていましてという知人がふえています。

今年の総会地川越の町は、ご夫婦・友人など、楽しそうに散策している姿が多くみられます。日頃、歩数計で歩いている方も多いかと思いますが、ご近所の公園めぐりなどされて、新しい発見をしてはいかがでしょうか。